

# 豊友会報

大分市下郡字長谷496-38  
大分県教育会館内  
大分大学教育福祉科学部  
同窓会「豊友会」  
編集兼 仲道俊哉  
発行人  
TEL 556-0145  
印刷所 印刷  
印刷 印刷  
印刷 印刷  
TEL 533-8800

## 教育施策 活動のベクトル



### 「協育」ネットワークづくりを



大分大学生涯学習教育研究センター長

山崎 清男

手元に「地域社会の協働による子どもの健全育成の方策について」という報告書があります。これは昨年大分県社会教育委員会が、大分県教育長からの諮問に対して答申したものです。内容をごく簡単に述べますと、子どもの健全育成のためにはさまざまな教育主体が連携・協働することが必要であることを指摘しています。

今日のように、これだけ社会が高度化・複雑化し急激な変化に直面してきますと、子どもを取り巻く社会全体、すなわち家庭・学校・地域社会が一致協力して、子どもの協力にあたる必要があります。

この連携・協働による子どもの教育を考える視点として「家庭・学校・地域社会の「協育」ネットワークづくり」の必要性を謳っています。ここでいう「協育」とは、協働して育てるということ

#### 「協育」の必要性

従来教育活動や教育施策は、さまざまな形で取り組まれてきましたが、この連携・協働による教育改革を考える際の一つの視点として、この連携・協働を確立するため

#### 「協育」の視点をいかにして

この連携・協働は古くから、教師教育以外の分野においても、同様な視点で教育福祉科学部のあり方を考えています。高校卒業生数と大学入

の「協育」ネットワークづくりは、大きな示唆を与えてくれるように思います。そして連携・協働のための「協育」ネットワークづくりの、筋道を明らかにすることが今求められているといえます。教師教育の養成的側面を担っている教育福祉科学部も、カリキュラムにこのような視点を積極的に位置づけていくことが必要になります。自己完結的に学校教育をとらえるのではなく、家庭や地域社会さらには学校現場等との連携・協働の中で「協育」の視点を持つカリキュラムが要請されているのです。教育福祉科学部は、この課題を達成するための改革に取り組もうとしています。もちろん、教師教育以外の分野においても、同様な視点で教育福祉科学部のあり方を考えています。

#### 随想



豊友会 副会長 安田 睦子 (昭和26年卒)

### 出会いに感謝

卒業生のみならずおめでとうございます。職種は多岐にわたる全国に翔る卒業生の新たな挑戦にエールをおくりたい。師範や学芸・教育学部は殆どが教職で県内では同窓の先輩から温かく迎えられるものです。指示とおりに同窓会に入会するのは当然のことでした。

私が同窓会に関わるようになったのは昭和五十九年です。故郷に接するようになり、数学専攻の私は編集とは余り縁がなかったのですが専門用語等事務局長の指導は新鮮でした。模索の末に試みたのは海外派遣で活躍の先生の紹介です。

今年度は支部選出の女性評議員との出会いがありました。魅力ある同窓会にと熱く語るみなさんに頭が下がりを強くしています。

二宮住子同窓会編集委員から紀行文を依頼されました。アメリカ旅行をしたばかりで西から東海岸の四大都市やグランドキャニオン、ラスベガスとナイアガラまで欲張りしたので内

容は豊富でした。この頃の二宮先生は教頭職で後に校長に昇進されました。先生のご指導や激励に支えられて私の今日があります。

その後同窓会編集委員や常任評議員を務め事務局長のご苦勞に大慌てでラジカルから再々スペイン領グランドカナリア島北部のラス・バラマス日本人学校の校長の外、多くの方々や国から寄稿していただきました。

### おめでとございませう

定員数が逆転してきた今日、大学淘汰とか大学再編の時代といわれています。まさに「冬の時代」です。そのような中で、大分大学教育福祉科学部が今後教育界においては

#### ◎文部科学大臣表彰 (学校給食関係)

高橋 英子 氏 (昭和43年卒) 大分市森三三七三

#### ◎環境大臣表彰 (自然公園関係)

首藤 宏 史 氏 (昭和34年卒) 大分市金池南一十二二五

### 自然を大切に



大分市金池南一十二二五 首藤 宏 史 (昭和34年卒)

多くの方々のご指導、ご支援、ご協力のおかげで、平成十八年十一月八日三重県志摩市で開催された、第四十八回自然公園大会で、永年にわたり国立公園の保護と適正な利用に功績があったという事で、環境大臣表彰を受賞することが出来ました。お世話になりました皆様と一緒に頂いた賞状であり、皆様に心より感謝申し上げます。

昭和四十六年頃頃山の中腹が皆伐状態で伐採されたことに驚き、山に登る者として何とか伐採中止の働きかけをしなればとの思いで、同じ思い

の方々と一緒に、当時の営林署、営林局、林野庁、環境庁へ伐採中止の陳情として残っています。現や県議会への請願書提出、今自然保護の大切さが理解され、様々な活動がなされるようになったこと、色々々働きかけを続けながら、自然林(原生林)の保護活動に取り組むと共に、国立公園や国定公園を中心に、清掃活動と啓発活動に取り組んできました。また、一般県民を対象にした県民登山教室を開催し、公園の利用や登山の指導と併せて自然保護の啓蒙も続けて来ました。くじゅうの黒岳も伐採計画がありました。地元の方々と一緒に中止

の働きかけをし、無傷で残ったことが良い思い出として残っています。現や県議会への請願書提出、今自然保護の大切さが理解され、様々な活動がなされるようになったこと、色々々働きかけを続けながら、自然林(原生林)の保護活動に取り組むと共に、国立公園や国定公園を中心に、清掃活動と啓発活動に取り組んできました。また、一般県民を対象にした県民登山教室を開催し、公園の利用や登山の指導と併せて自然保護の啓蒙も続けて来ました。くじゅうの黒岳も伐採計画がありました。地元の方々と一緒に中止

### 豊友

今、日本の子育てを危惧する点では、国民全般の了解があると思う。だが、教育再生会議など、問題を議論し、課題を整理し、解決策を提示する公式機関の動向には疑問の念を禁じえない。

私の経験では、地に足をつけ、地味な実践を継続しながら行う議論だけが実を結ぶものである。大分大学教育福祉科学部 教授 山岸 治男